

パイン#6010T

- 1. 系統** 二液性変性脂肪族ポリアミン硬化型厚膜エポキシ樹脂系ジンクリッチ塗料（エポキシジンクリッチペイント）
- 2. 特徴**
- 1) 厚膜による長期防食性能に優れる。
 - 2) 速乾性で塗装作業性に優れる。
 - 3) 付着性・物理特性に優れる。
 - 4) 耐曝露性に優れ、強靱な皮膜を形成する。
- 3. 用途**
- 1) 各種鋼構造物の防錆用下塗塗料。
 - 2) 溶融亜鉛メッキ補修塗装用。

4. 塗料性状

項目	内容				
容 姿	2液性				
荷 姿	25kg セット				
色 相	グレー				
光 沢	つや消し				
密度 (23℃)	塗料	2.70 (主剤・硬化剤混合物の標準)			
	揮発分	0.86			
加熱残分	84wt%				
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指 触	60分	40分	20分	10分
	半硬化	8時間	6時間	3時間	2時間
標準膜厚	75μm				
引 火 点	SDS参照				
発 火 点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				
貯蔵安定期間(20℃)	6ヶ月				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で熟成し、再度攪拌して塗装する。混合後は、可使時間以内に使いきる。
- (2) 素地調整はブラスト処理にて行い、被塗面の錆、油脂、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。
- (3) 希釈にはパイン#6010溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- (4) 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- (5) エアレススプレー塗装の場合は塗料を60~80メッシュの金網でろ過する。刷毛塗り塗装も可能ですが、仕上がり外観にバラツキを生じる場合があります。
- (6) 本塗料は密度（比重）の大きな亜鉛末を多量に含有していますので、塗装作中も攪拌を継続する。
- (7) 亜鉛メッキ面の補修塗装に使用される場合には、メッキ面の白錆などの付着物は丁寧に除去する。
- (8) 取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

5. 塗装基準

項目	内容				
下 地 処 理	ISO-Sa2.5(SSPC-SP10)				
調 合 法	主剤：95部、硬化剤：5部（重量比）				
熟 成 時 間	約30分（20℃）				
可 使 時 間	5℃	10℃	20℃	30℃	
	24時間	20時間	16時間	8時間	
塗 装 方 法	エアレス塗装				
使用シンナー	パイン#6010溶剤				
塗 装 法	塗 装 方 法	エアレス塗装			
	希 釈 率	0~10wt%			
	標準使用量	0.75kg/m ²			
	標準膜厚	75μm			
エアレス塗装条件	1次圧	0.4~0.5MPa(4~5kg/cm ²)			
	2次圧	12~15MPa(120~150kg/cm ²)			
チップ No.163-521~525					
塗 装 間 隔	温 度	5℃	10℃	20℃	30℃
	最 小	120時間	48時間	24時間	16時間
	最 大	6ヶ月			

*) 最小間隔は、エポキシ系・タールエポキシ系の場合を示す
同種塗料は20℃で24時間以上、塩化ゴム系で48時間以上とする。

7. 適合する塗料

上塗：パイン#7010、パイン#7010TS
パイン#51-72T他

8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有	第2種有機溶剤含有
有害物質表示	キシリ、イソパネン	キシリ、イソパネン 1-ブタノール
劇物表示	—	—
イソ樹脂表示	エポキシ樹脂	変性脂肪族 ポリアミン

9. 使用上の注意 [警告]

- (1) 引火性の液体である。
- (2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工 事 部（塗料担当）

〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番29号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251